

【調査研究等部門】

事業名 石炭灰造粒物を用いた底質改善手法
 授賞機関 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所
 実施期間 平成19年11月27日～平成25年3月20日



実証試験区内で確認された底生生物

〔事業概要と評価〕

実証実験では、有機泥の堆積速度の減少や硫化水素の酸化や窒素・リンの不活性化等による硫化水素・栄養塩濃度の低減により、底質及び水質の改善効果とともに、底生生物の現存量の増加による底生生態系の回復といった効果が確認されている。海域環境改善効果が高く、効果も継続的に得られ、湾奥部等の閉鎖性水域における底質及び水質等の海域環境改善手法として今後の活用が大いに期待される点が評価された。

賛助会員：復建調査設計(株)

事業名 瀬戸内海における災害時の広域相互応援訓練
 授賞機関 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
 愛媛県松山市
 広島県呉市
 実施期間 平成26年6月28日



平成24年6月1日海ネット協定締結式



呉港での支援物資積み込み

〔事業概要と評価〕

平時に利用されている船舶を活用し、離島における災害時のニーズ等に対応した緊急物資輸送等の訓練を実施することにより、瀬戸内海の特徴を踏まえた災害時の相互連携体制の実効性を高めることができ、実効性の向上も図られている点が評価された。今後南海トラフ地震の切迫性が指摘される中、広域的な相互支援体制の構築により、災害時の人員・緊急物資輸送への多大な貢献が期待される。